

(案)

愛知万博 20 周年記念事業 実施計画 (概要版)

2024年3月

愛知万博 20 周年記念事業実行委員会

実施概要

事業名	愛知万博 20 周年記念事業（愛称募集予定）
会期	2025 年 3 月 25 日(火)から 2025 年 9 月 25 日(木)までの 185 日間 ※2005 年日本国際博覧会（略称：愛知万博）と同じ会期
実施時間	午前 10 時から午後 5 時まで（夏季はイベント内容に応じて別途設定）
実施会場	愛・地球博記念公園（愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1） ※海上の森周辺においても関連イベントを実施予定
主催	愛知万博 20 周年記念事業実行委員会
入場方式	原則無料（イベントによっては一部入場料を設定）
総事業費	約 1 7 億円
想定来園者数	1 8 5 万人

ロゴマーク



【コンセプト】

愛知万博で培った世界の国々との繋がりを、カラフルな配色で表現しています。あわせて、20の中に「花」と「笑顔のモリゾー&キッコロ」が加わることで、20周年をお祝いするデザインとなっています。

開催テーマ

メインテーマ

つなぐ 未来（あした）へ

2025年は、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」が開催されて20周年となります。愛知万博の会場であり、2024年3月にジブリパーク全5エリアが開園し、賑わいが増す愛・地球博記念公園において、国内外からの来園者に対し、愛知の多彩な魅力を発信することで、愛知を知り、好きになってもらうことを目的に、様々な人々が集う、つながりの場を創出します。

また、愛知万博から20周年が経過し、万博を知らない世代が増える中で、本事業を通じて改めて愛知万博を振り返り、その意義や成果を再認識することで、未来を担う若者たちにその成果や理念をつなげていきます。

サブテーマ①

愛知で、さがそう！遊ぼう！つながろう！

歴史、文化、食、産業など、愛知の多彩な魅力を詰め込み、愛・地球博記念公園を訪れたすべての人がその魅力を体感し、感動や喜び、楽しさを感じることで、「この先もつながっていたい愛知」を見つけることができる記念事業を作り上げていきます。

サブテーマ②

語りあおう！つなげよう！自然の叡智

2005年に開催された愛知万博では、世界の国々や団体だけでなく、多くの市民が参加し、地球規模の課題に対して何ができるか真剣に語り合われました。20年が経過した今、それがどのように継承され、持続可能な社会を未来に残すためにこれから何ができるのかを、愛知万博を知らない世代とともに改めて考え、さらに先の世代につなげていくための記念事業を作り上げていきます。

開催イメージ

- ◆ 会期全体を通じて、地球市民交流センターで記念事業のシンボルとなる大規模な展示を行うほか、屋上庭園や園内の様々な場所で、万博の理念・成果を伝える展示・装飾等を展開します。
- ◆ 毎月2週末程度、実行委員会主催の目玉イベントを開催するほか、企業や団体等様々な主体と協力して、土日祝日や夏休み期間等に、見て、触れて、感じて楽しむことができる様々なイベントを展開します。また、同時期に開催される大阪・関西万博とも連携していきます。
- ◆ 集客ターゲットとして若者世代に重点を置くとともに、そうした世代が来客としてだけでなく、主体的に参画することを意識したイベントを展開します。
- ◆ 市町村・企業・大学・市民団体等と協働・連携しながら、愛知の多彩な魅力を詰め込み、国内外から来場する様々な人々と愛知を繋げる場を創出します。
- ◆ 愛・地球博記念公園内において、愛知万博の理念と成果を継承し、国内外の多くの方に愛されているジブリパークとともに、記念事業を盛り上げていきます。



会場イメージ



会期を通じて行う「常設型イベント」のイメージ

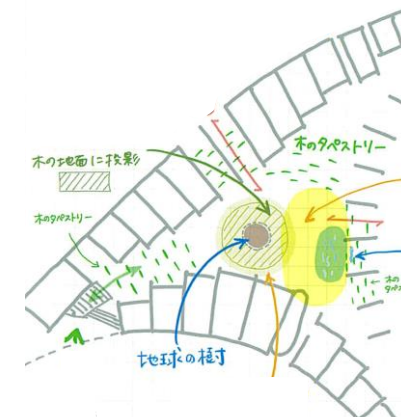
(1) EXPO Experience (エキスポ・エクスペリエンス)

① 地球の樹 ～みんなのおうち ひとつのかぞく～

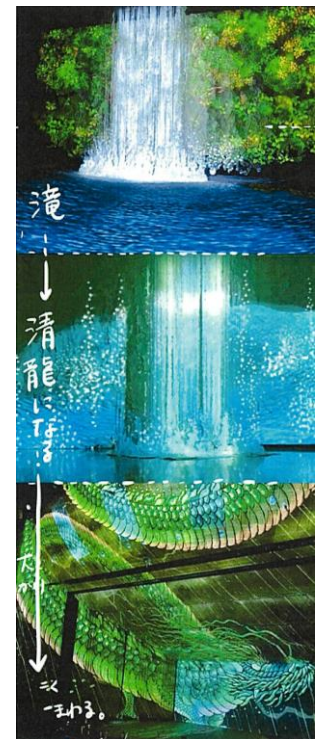
地球市民交流センターの屋内広場において、長久手市在住の切り絵作家 酒井敦美氏の協力のもと、切り絵を自然光や映像技術を用いて、大きな木を模した立体物や天井・床面等に映し出し、「光」・「風」・「水」などの自然を感じられる空間を演出します。

【光の切り絵作家 酒井敦美氏】

愛知県生まれ、在住。独学で絵を描き続け、舞台美術としての OHP を使った切り絵制作が礎となる。“切り絵”を“光”で透かして表現する、オリジナル画風を「光の切り絵」と名付け、制作・発表を続けている。



展開イメージ



② 万博の振り返り映像等

当時の映像の上映やパネルの展示により、愛知万博を振り返ることができる空間を演出します。

(2) コミュニティガーデン「風の丘」

東山動植物園に隣接する星が丘地区（名古屋市千種区）で、植物を通じた街づくりを実践している産学連携チームと協働して、地球市民交流センターの屋上庭園を「風」をテーマに、日頃、星が丘の街づくりで用いている手法をもとに、人や生きものが集う「コミュニティガーデン」としてプロデュースします。



(3) 彩 (いろどり) の回廊

大学連携企画として位置付け、園内各所（4か所程度）に展開する学生の創造力やアイデアを活かした彩り豊かなインスタレーションにより、記念事業の特別感を来場者と共に楽しめる空間を演出します。

概ね月毎・スポット毎に大学が入れ替わりながら展示を行います。参加大学の学生たちによるプロジェクトチームを立ち上げ、学生同士の繋がりを大切にしながら、各大学によるオリジナリティ溢れる展示を行います。



- ① 愛・地球博記念館周辺（階段）
- ② 愛知県児童総合センター前（丘）
- ③ 西口広場（噴水）
- ④ 親林楽園内（水小屋周辺）
- ⑤ 親林楽園内（光小屋）※県民参加型展示

【参加大学：全12大学】

愛知県立芸術大学	愛知工業大学	愛知淑徳大学
金城学院大学	椋山女学園大学	中部大学
名古屋芸術大学	名古屋市立大学	名古屋女子大学
名古屋造形大学	名古屋大学	名城大学

【飾り棚 (①~④)】



【県民参加型展示⑤】



(4) AICHI LOVE THE EARTH チャンネル

記念事業に関する情報発信の拠点となる放送局（AICHI LOVE THE EARTH チャンネル）を開設します。

記念事業期間内で開催するイベントや設置された展示物を紹介するコンテンツに加え、愛知万博にゆかりのある人物からのメッセージ等をまとめたコンテンツを作成し、YouTube で配信するほか、Instagram などの SNS で情報発信していきます。



コンテナハウスを利用した放送局を設置（イメージ）

(5) 手のひらタイムトラベル ～愛・地球博の秘密を探れ～

愛・地球博記念公園を散策しながら、映像コンテンツ等を通して、愛知万博の当時の会場の様子や話題となったモニュメントなどを知ることができるイベントです。

愛・地球博記念館を発着地点と想定し、スタンプラリー形式で行います。園内各所に設置するQRコードをスマートフォン等で読み込み、画面に映し出された愛知万博当時の写真や映像とともに、出題されるクイズを解きながら楽しめるイベントにしていきます。

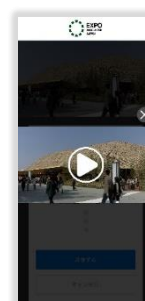
①QRコード読み取り



②クイズの出題



③万博当時の映像や写真の表示



<設定コースの内容（想定）>

- ① 愛・地球博記念館コース
- ② 万博メモリアルコース
- ③ 万博パビリオンコース
- ④ 万博トリビアコース

土日祝及び長期休暇を中心に行う「短期型イベント」のイメージ

(1) フラワーピクニック

実施期間：2025年3月25日（火）から4月6日（日）まで

実施場所：大芝生広場・西エリア・地球市民交流センター

概要：県内の花の生産者・関連団体と連携し、鉢花・切花・観葉植物などの販売や花を使ったワークショップ、エディブルフラワーを使った飲食物の販売など、日本最大級の花のマルシェを開催します。

① マルシェ出店

県内の生産者団体・花関連諸団体と連携し、鉢花・切花・観葉植物や、花にまつわる雑貨等の販売などを行う日本最大級の花のマルシェを開催します。



② ドライフラワーに囲まれたお花の体験コーナー

フラワーアレンジメントやハンギングバスケット作りなど、花を使った各種の体験ができるコーナーを展開します。



③ エディブルフラワーを使った飲食物の販売

「花×食」をテーマに花を使ったスイーツやドリンクなど、花にまつわる食べ物を一同に集め、愛知県がエディブルフラワー（食用花）の生産が盛んであることもPRします。



(2) 遊びと学びの体験フィールド

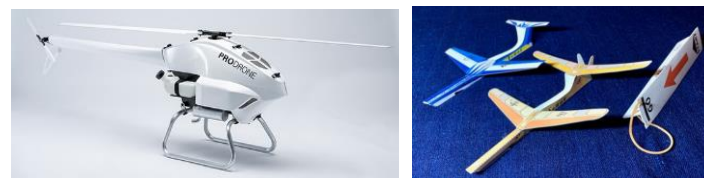
実施期間：2025年4月26日（土）・27日（日）・29日（火・祝）、5月3日（土・祝）から5月6日（火・祝）

実施場所：大芝生広場、西エリア、地球市民交流センター（屋内広場）ほか

概要：ドローンや飛行モビリティの展示・体験、空を飛ぶ仕組みを学ぶ体験教室、働く車や小型モビリティの展示・体験などの最新技術に触れるイベントを開催します。

① 「そら」のフィールド（西エリア）

大型ドローン、飛行モビリティの展示、ドローンの操縦体験、紙飛行機などを使った空を飛ぶ仕組みを学ぶ体験教室を実施します。



② 「だいち」のフィールド（大芝生広場）

木の遊具などの体験や県産材商品の紹介、白バイ・パトカーなどの働く車の試乗・展示、小型モビリティの試乗体験等を実施します。



③ 「ひと」のフィールド（屋内広場）

調理や配膳をサポートするロボットの展示や映像技術等に関連する新しい技術を体験できる教室を実施します。



(3) 集まれ！あいちの魅力博。

実施期間：2025年5月10日（土）から5月25日（日）※土日のみ

実施場所：大芝生広場、地球市民交流センター

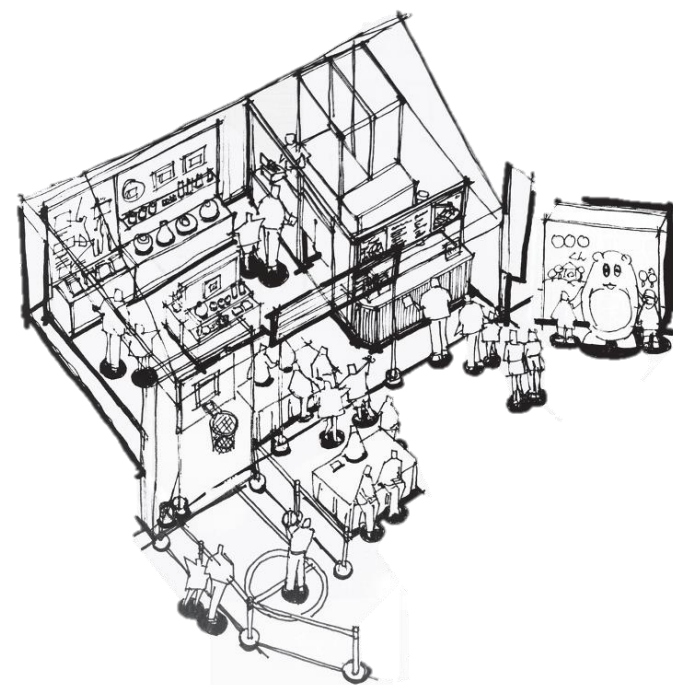
概要：県内市町村等がブースを出展し、特産品やご当地グルメの販売、ステージイベントやワークショップなどを通して、歴史、文化、自然、食、産業など、各地域の様々な魅力を知り、楽しんでもらえるイベントを開催します。

① 大芝生広場

市町村や地元企業・団体等による、グルメや特産品等、地域の魅力をPRするブースを展開します。また、ステージにおいて地域の祭りや伝統芸能等を紹介するコンテンツを実施します。

② 地球市民交流センター

各地域の多彩な魅力に触れられるブース出展やミニステージ等を実施します。また、地域の伝統的工芸品や郷土伝統工芸品、地場産業など楽しみながら、体験ができるワークショップ等を実施します。



(4) ECOフェスタ

実施期間：2025年6月7日（土）から6月15日（日）

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場

概要：環境問題に取り組む企業等の取組の紹介や親子で学ぶ環境講座・ワークショップを実施するほか、自然観察イベント、ジョギングとゴミ拾いを組み合わせたプロギング、小学生による「キッズ環境サミット」を開催します。

① 企業との連携イベント・取組のパネル展示

愛知県や民間の団体・企業等の環境問題についての取組内容を紹介するパネルの展示や、親子で学べる環境講座・ワークショップなどを開催します。



② (株)学研ホールディングスの「図鑑」を使った生物多様性を知るイベント

園内を散策しながら、動植物の特徴について、学生講師の話や学研の図鑑の情報を聞き、環境・自然への理解を深めてもらうイベントを開催します。



③ 公園を発着地としたプロギング

公園を発着地として、長短複数のコースを設定して、ジョギングとゴミ拾いを組み合わせた新しいフィットネスであるプロギングを開催します。

④ キッズ環境サミット

県内小学生が自分たちの普段取り組んでいる環境への取組などについて、オンラインで幅広く発信する「キッズ環境サミット」を開催します。



(5) 地球大交流フェスタ

実施期間：2025年7月12日（土）から7月21日（月・祝）

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場、西エリア

概要：「世界がもし100人の村だったら」アフターストーリーをメインコンテンツに、世界が抱える課題について理解・体験できるイベントや、企業・団体等と連携し、世界の文化や遊びを体験できるゾーンを展開するなど、国際理解・国際交流を促すイベントを実施します。

① 世界がもし100人の村だったら 特別展示「2025 あの村はどうなった？」

愛知万博の開催当時に話題になった「世界がもし100人の村だったら」をテーマに20年間の系譜を振り返るパネル展示や、著者である池田香代子氏によるトークショーなどを実施します。



② 世界の民族文化体験

企業や団体等と連携し、世界の様々な民族の衣・食・住や音楽といった文化を体験できる展示やイベントを実施します。



トルコアイス

③ 世界の遊びパーク

子どもの水遊び場があり、夏季に親子連れに人気のある西エリアにおいて、子どもから大人までが楽しめる、日本・世界の伝統的な遊びを体感できるイベントを開催します。



ホビーホース（フィンランド）

(6) 地球を愛する学園祭

実施期間：2025年8月1日（金）から8月31日（日）

実施場所：地球市民交流センターほか

概要：愛知万博のメインテーマ「自然の叡智」がどのように継承され、また、未来へ持続可能な社会を残すために、これから何ができるのかということについて、学生の自由な発想により企画・運営する様々なイベントを開催します。それにより、世代を超えて愛知万博の理念や成果を継承していきます。

① 体験学習室及び屋内広場における展示・体験ブース、ワークショップ等の展開

「自然の叡智」から連想される様々なテーマに対して、学生たちが自ら考え、考えたことを幅広く発信していく展示やワークショップを実施します。また、学生によるフェアトレード商品・再生可能な素材を使ったグッズ等を販売するブースを展開します。



② ステージパフォーマンス、キッズサマーパークとの連携イベント

学生が活躍する場として、大芝生広場のステージの活用を検討していきます。また、同時期に実施する「キッズサマーパーク」において、大学生が持つ知識や技術と連携することを検討します。



(7) ナイトファンタジー

実施期間：2025年8月1日（金）から8月17日（日）まで

実施場所：大芝生広場の周辺で広く展開予定

概要：夏季に公園の開園時間を延長し、園路、森の木々や造作物を映像や光、音楽等で演出します。

子どもから大人までが楽しめるナイトイベントやドローンを使った光のパフォーマンスを実施します。

① 地球市民交流センターから森へとつながる夜間展示

地球市民交流センターの屋内広場で展示する「地球の樹」に、ナイトバージョンの演出を行います。



② 林床花園のライトアップ

林床花園では、光と音楽と映像を使ったインスタレーションを作り上げます。また、地球市民交流センターから森へと続く公園内の園路を光で彩ります。



③ ナイトイベント

ナイトバブルショーや盆踊り大会など、子どもから大人までが参加できるイベントを開催します。また、光るドローンを使ったショーなどを実施します。



④ 夜間限定の飲食物の提供

徐々に暗くなる時間帯の公園をゆったりと楽しんでいただけるよう、地元のグルメなどの飲食物を提供するスペースをオープンします。

(8) キッズサマーパーク

実施期間：2025年8月2日（土）から8月31日（日）

実施場所：大芝生広場、西エリア、地球市民交流センター

概要：大量の泡や水風船を使った玉入れ、水鉄砲合戦など、水を使ったイベントや、暑い夏を乗り切るためのアイデアの実験・ワークショップなどを開催します。

① モリコロパーク泡まつり

泡や水を放出する装置を使って、子どもが楽しめるイベントを開催します。



② ウォーターイベント

爽快感溢れる夏ならではのウォーターアクティビティで、親子一緒にずぶ濡れになって楽しめるイベントを実施します。



③ 水と氷の冷え冷えパーク

夏の暑さを吹き飛ばす、水風船玉入れチャレンジやアイスオブジェの宝探し、かき氷などの冷たいスイーツを楽しめるエリアを展開します。



④ 楽しく学べる夏の EXPO 講座

企業や大学など様々な団体と連携し、子どもたちが楽しみながら学べる EXPO 講座を開講します。

(9) サステナブル芸術祭

実施期間：2025年9月13日（土）から9月25日（木）まで

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場

概要：環境・経済・社会の「サステナビリティ」をテーマとした映像・音楽・アート等の複合的な大規模イベントを開催します。映画監督の堤幸彦氏の指揮の下、本芸術祭に賛同する多様な団体や学生・子どもたちに参加を呼び掛け、会場全体で芸術・文化に触れながら、2025年以降の未来社会のあり方を考えるイベントとします。また、国際芸術祭「あいち2025」と連携したイベントを実施します。

① 地球の樹 映像コンペティション

地球市民交流センターに設置された「地球の樹」のある空間を映像で作り出すコンペティションを実施します。



② EXPOアートアカデミア

若者がサステナブルをテーマとした映像作品を学び・制作する「EXPOアートアカデミア」を開校します。受講生は会期を通じて制作し、9月の芸術祭で作品を展示・上映します。



③ サステナブルをテーマとした音楽イベントや作品展示

廃棄物等を再利用した楽器を用いた演奏会等を行います。また、障がいを持った方々が制作した芸術作品の展示や廃材を利用したアート作品の展示・ワークショップ等を展開します。



(10) リレーシンポジウム

実施期間：2025年4月・8月・9月の3回を予定

実施場所：地球市民交流センター

概要：2005年の愛知万博の成果を改めて検証し、その後、継承・発展された活動事例を紹介。今後の活動や、目指すべき姿を語るなどをテーマとしたシンポジウムを会期中に3回程度実施します。

(11) オープニング・クロージングセレモニー

<オープニング>

実施期間：2025年3月25日（火）

実施場所：地球市民交流センター、大芝生広場

実施概要：当事業のオープニングとして、メディア向けに地球市民交流センターで「地球の樹」の点灯式を行います。また、大芝生広場ステージにてオープニングセレモニーを実施します。

<クロージング>

実施期間：2025年9月25日（木）

実施場所：大芝生広場

実施概要：大芝生広場ステージにてセレモニーを実施します。セレモニーでは会期を振り返るとともに、次の10年へのメッセージ、閉会宣言等を予定します。

(12) 他の主体と協働で開催するものや民間事業者等による既存イベント

- ジブリパーク、一般財団法人地球産業文化研究所（GISPRI）、公園マネジメント会議、県庁各局などと協働し、イベントを展開していきます。
- また、例年、愛・地球博記念公園で開催されているものを始め、民間事業者等主催イベントについても、記念事業と連携し、開催することで、毎週末、会場内で楽しめるように展開していきます

広報計画

県を挙げて記念事業を盛り上げていくため、開幕の1年前（2024年3月）に公式ホームページを立ち上げるとともに、ポスター等の啓発資材を作成します。2024年度は、開幕半年前や開幕直前期など時期に応じて戦略的に広報活動を展開していきます。なお、同様に20周年を迎えるセントレアやリニモと連携したPRも検討します。

1年前・半年前・直前期のタイミングで、ポスター等に用いる「キービジュアル」を作成します。

1年前～

万博20周年そのものの周知を図ります。



半年前

開幕半年前をめぐりに開催気運を高めるための広報を行います。



直前期・会期中

イベントの内容等を周知し、来場促進を図ります。

